

第1回秦野こども未来づくり会議について

1 目 的

令和4年6月に「こども基本法」が成立し、こども等の意見を反映する機会等の確保について定められたことを受けて、本市ではこれまで15年間活動してきた「いじめを考える児童生徒委員会」を、令和5年から「秦野こども未来づくり会議」と名称を変更しました。秦野こども未来づくり会議ではいじめが起きにくい学校づくりに向けた各校の取組を推進するとともに、これからの学校づくりや街づくりに児童生徒の意見が反映される新たな仕組みづくりを目指しているところです。

特に令和7年度は、11月に「第30回全国報徳サミット秦野市大会」が開催されることから、二宮尊徳の教えである「報徳仕法」も踏まえた具体的な事業展開を目指すものです。

2 日 時

令和7年6月1日（日）午前9時30分から正午まで

3 会 場

秦野市役所教育庁舎3階大会議室

4 参加者

(1) 児童生徒委員	41名
(2) 教職員	40名
(3) 教育長	1名
(4) 教育委員	1名
(5) 教育部長	1名
(6) 市P連会長	1名
(7) 教育委員会事務局	13名
(8) 合計	98名



真剣な表情で委嘱式に臨む様子

5 当日の活動内容

開会後は、教育長から各校の代表児童生徒に委嘱状が渡され、来賓の皆様からの激励の言葉をいただいた後に、会議の委員長と副委員長を選出しました。選出の際には多くの児童生徒が立候補する姿が見られ、児童生徒の会議に対する意欲が見られました。

後半には、協議等が活発に行われるようアイスブレイクとして二宮尊徳に関するクイズを行い、和やかな雰囲気になったところで会議の活動や目的について担当指導主事より説明を受けました。

その後、指導主事も加わり中学校区ごとに顔合わせを行い、今年度のいじめ防止の取組について情報交換するとともに、予め調べてきた「報徳」に関することを発表し合い、自分たちの活動の中で「報徳仕法」に関係することについて協議しました。

6 今後の活動予定

今後は「報徳仕法」を進めるためのアイデアや、「報徳仕法」を進めるために大切なこと等について学校ごとに考え、8月22日（金）に予定されている第2回の会議において中学校区ごとに意見をまとめ、「秦野こども報徳宣言（仮称）」として11月1日（土）の第30回全国報徳サミット秦野市大会と、3日（月）の70周年記念式典で社会に向けて発信していく予定です。



アイスブレイクに取り組む様子



中学校区の協議の様子



当日参加いただいた児童生徒の集合写真